

質問日	令和5年3月6日(月)		質問方式	分割方式			
質問順位	4	会派名	日本共産党浜松市議団	議席番号	4	氏名	酒井 豊実
表題	質問内容						答弁者の職名
1 鈴木市政4期16年の市民的評価について	<p>広報はままつ2月号の「市長コラム」で鈴木市長は、『幸福度ランキング1位奪取』との表題で、日本総研が発表した「全国20政令指定都市の幸福度ランキング2022年版で、浜松市が総合ランキング1位に返り咲きました。」「そうそうたる政令指定都市がひしめく中で、堂々の1位に輝いたことはとても喜ばしいことです。」と表明している。また、「コラム」の中段からは、新たにLWC指標も紹介している。</p> <p>「ランキング」の指標で「医療・福祉のホームヘルパー数」は20位、「学校」は20位、「不登校児童生徒数」は15位、「義務教育費」は14位などとなっている。指標外だが、この間には、バス・タクシー券等給付事業の廃止という高齢者を悲しませる福祉の後退もあった。</p> <p>(1) 「幸福度1位」と実際の浜松市政、市民生活の現実には大きな乖離があるのではないかと考えるが何う。</p> <p>(2) 産業の成長に力点を置いた「企業立地補助金」の膨大な投入は、市民の「幸福度」を向上させたのか何う。また、これまでに補助した促進費と奨励費(固定資産税等相当額の補助金)の各合計金額も何う。</p> <p>(3) 行政区再編問題で4年前の住民投票とその後の民意が軽視・無視され、民主主義の質、市民の幸福度を大きく下げたのではないか。住民参加はどこへ行ったのか何う。</p>						鈴木市長
2 子育て支援、保育と子供の人権について	<p>保育園での事故や事件が相次いでいる。絶対にあってはならない深刻な事態だ。かけがえのない子供の命と人権をいかにして守り育てていくか。</p> <p>(1) 楽しく豊かな保育園になっているか。保育の現場は、ますます多忙を極めており、労働環境が非常に厳しい。保育士が全く足りない。早急に保育園の保育士配置基準の改善と市独自対策としての0歳児・1歳児への「定額定員制」導入などを実施してはどうか何う。</p> <p>ア 保育士配置基準の見直しについて何う。</p> <p>イ 0歳児・1歳児の定額定員制について何う。</p> <p>(2) 「子どもの権利条約」では、「生きる権利、育つ権利、守られる権利、参加する権利」の4つの権利が定められており、子供にとって一番よいことを実現しようとしている。そして、「こども基本法」が2023年4月1日に施行される。しかし、浜松市政で子供の権利を擁護する取組の実態はどうか。</p> <p>『浜松市子ども育成条例』は、『子どもの人権条例』になっていない。名古屋市が2020年3月に改正したように、抜本的に見直して『浜松市子どもの権利条例』を制定すべきではないか考えを何う。</p>						吉積こども家庭部長

※二重線は、分割方式を選択した場合の分割箇所を示すものです。

表 題	質 問 内 容	答弁者の職名
3 学校教育における食育と学校給食費の無償化について	<p>本市は170品目を超える農産物を生産し、水産物も豊富だ。学校給食等を通じて次代を担う子供たちが学び、本市の農業・畜産業や水産業に対する理解を深め、健全な心身を育むことは学校教育に不可欠である。</p> <p>(1) 学校教育における食育はどのように行われているのか伺う。また、地産地消の視点を意識した特徴的な取組と現在の食育の課題について伺う。</p> <p>(2) 諸物価の高騰などによって、子供たちの食生活に格差と貧困が深刻化し、子ども食堂が急拡大している。豊橋市では今年度の給食費無償化の実施を、新年度も継続させる予算案を示した。本市でも学校給食費の無償化に踏み出すべきではないか伺う。</p>	田中学校教育部長
4 2022年9月の台風15号水害と職員の現場活動について	<p>本市は9月の台風の際、線状降水帯に襲われて経験したことのない集中豪雨と浸水被害に遭った。特に、東区・浜北区・天竜区の床上・床下浸水被害は大きかった。</p> <p>(1) 区役所と区長はいかに活動したのか伺う。また、区役所の防災体制の課題を伺う。</p> <p>(2) 市職員の防災服等は完備しているのか伺う。</p>	藤田東区長 小松危機管理監
5 水害に対応した「安全なまちづくり」について	<p>本市を襲った昨年9月の2回の水害は、頻発し激甚化する水害の都市特有の被害を現した。河川・排水路整備、都市計画、土地利用、規制緩和、農地転用、遊水地・雨水貯留などの過去・現在を検証し、総合的な水害防止対策が早急に実行されなければならない。特に東区内の猪川流域の甚大な浸水実績と市街地縁辺集落が重なっていることは注目される。</p> <p>「都市計画法」及び「都市再生特別措置法」の改正に伴うレッドゾーン及び水害ハザードエリア等の災害リスクの高いエリアにおける開発禁止、市街地縁辺集落を含む市街化調整区域における開発許可の見直し・厳格化が、本市でも早急に求められている。どのように推進するのか伺う。</p>	井熊都市整備部長
6 天竜川の橋の安全性確保について	<p>天竜川は鹿島で急速な洗堀が進んでいると思う。国道152号の鹿島橋と天竜浜名湖鉄道の天竜川橋梁は、橋脚が危険な状態に直面しているのではないかと。国道152号鹿島橋の状況と安全性確保について伺う。</p>	伏木土木部長
7 地域医療について	<p>(1) 北遠地域医療の中核・国民健康保険佐久間病院の役割と責任はますます重くなっている。県境を越えた診療も期待されている。</p> <p>このような責務を担う佐久間病院の機能を維持・拡充していくためには、医療スタッフの充足が絶対条件だ。静岡県からの派遣常勤医師の確保を伺う。また、</p>	鈴木医療担当部長

表 題	質 問 内 容	答弁者の職名
	<p>非常勤を含めた医師の確保、看護師の確保、近隣病院との連携等、医療体制の充実について伺う。</p> <p>(2) オンライン診療の展開と対面診療の充実について伺う。</p>	
<p>8 航空自衛隊浜松基地及びその周辺における有機フッ素化合物（PFOS・PFOA）汚染について</p>	<p>昨年7月22日に防衛省は「自衛隊施設における泡消火設備専用水槽水質調査結果」を公表し、全国の水槽125か所で水質基準（暫定指針値）の1リットル当たり50ナノグラム以上の有機フッ素化合物（PFOS・PFOA）が検出されたことを明らかにした。この調査結果では、航空自衛隊浜松基地の3か所の消化水槽で、5100ナノグラムパーリットル、3800ナノグラムパーリットル、11ナノグラムパーリットルが検出されている。</p> <p>(1) 基地内の汚染実態の把握について伺う。</p> <p>(2) 基地周辺の河川水系汚染の実態調査と対策について伺う。</p>	<p>藤田環境部長</p>